



るるるるる



2021年
12月
No.888

■発行所■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631
■ウェブサイト■ <https://jelc.or.jp/>
■E-mail■ jelc@jelc.or.jp
■発行人■ 李 明生 koho@jelc.or.jp
■印刷人■ 精文堂印刷株式会社
■定価■ 1部 40円 (郵税を含む)
■振替口座■ 00190-7-71734

説教「あれが阿多多羅山、あの光るのが阿武隈川」

日本福音ルーテル教会牧師 太田二彦

「御子はすべてのものよりも先におられ、すべてのものは御子によって支えられています。」

コロナの信徒への手紙1・17



私はこの7月に38年間の牧師としての務めを終えることになりました。突然の心臓病のためでした。思えば最初の任地が仙台、そして最後の任地も仙台でした。

その仙台を去る日、私は心の中に魯迅の言葉を思い巡らしていました。魯迅は仙台にゆかりの深い作家・思想家です。彼の「絶望の妄想なること、まさに希望と相同じ」(※1)という言葉をです。彼は絶望も希望も同じく妄想だと言うのです。実に衝撃的な言葉。この魯迅の言葉は、今、主のご降誕を希望の中で待つている私たちには正反対にある言葉のように感じたのではないかと思います。なぜな

ら希望も絶望と同じく虚しいものだと言っているからです。この言葉が私の頭から消えなかつたのです。コロナで閑散とした新幹線の中で私はこの言葉を思い巡らしていました。

電車が福島にさしかかった頃、妻が隣で突然「あれが阿多多羅山、あの光るのが阿武隈川。智恵子抄。うふふ。」(※2)と笑うのです。長く私と二緒に教会に仕えてきてくれた妻の変わらぬ笑顔に私は「そうか、魯迅の絶望の妄想なること、まさに希望と相同じ」という言葉は絶望も希望も同じく妄想だと彼は言っているのではないぞ」と気がつかされたのです。私たちが今、何かに絶望を抱

いていて、それを自分で絶望としてしまうなら、希望もまた虚しいもの、絶望と同じものになってしまうというのを魯迅は言っているのではないかとそう思ったのです。逆に絶望の中に在っても、希望を失わず、希望を持続するなら、絶望は決して絶望ではなくなるのです。つまり、ポインントは、何が真の希望なのかという事なのです。

私たちは主の救い主・真の希望なのです。今私たちは主の来り給うを待っています。アドヴェント。それはまた、主の十字架を思うときでもあります。なぜなら、主がお生まれになったのは、十字架におつきになるためであつたからです。人間には必ず誕生と死があります。命ある者には、必ず誕生と死があります。初めがあることは嬉しいことです。しかし終わりがあることはとても悲しいことです。しかしその死を打ち砕くために、キリストは十字架にお付きになられました。主は、私たちが死からお救いになるためにお生まれになりました。私たちの救いはこのキリストの受肉から始まります。私たちがクリスマスを待つのは、真の神が真の人となつて、この世に來られるからなのです。そしてこの事實は、天の使いが「あなた方のために救い主がお生まれになった」と告げたように「民のすべてに及ぶ」のです。私たちはこの救い主・キリスト

を迎えるとき、罪と死から救われます。慰めと喜びが与えられます。絶望が希望へと変えられるのです。だから私たちは無残に十字架にかかつて死に、その死によつて私自身の罪を赦し、復活して私たちに命の約束をしてくださり、希望を与えてくださった救い主イエス・キリストの誕生を祝う。それがクリスマス。

「御子はすべてのものよりも先におられ、すべてのものは御子によって支えられています。」これはコロナイ書1・17の言葉です。私たちの存在は、命は、キリストによつて支えられているのです。キリストは私たち二人一人の内にどんな時でも共にいてくださいます。だから私たちに絶望はありません。キリストがい



レンブラント作「羊飼いの礼拝」(1646)
ロンドン、ナショナル・ギャラリー所蔵

でも私たちが二緒にいてくださるので、たとえ私たちが「死の影の谷を歩もう」とも「私たちに絶望はないのです。在るのは希望。絶望ではなく希望なのです。」

「明日のことまで思い悩むな。明日のことを明日自らが思い悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である。」(マタイ6・34)

明日のことまで思い悩むな。明日のことを明日自らが思い悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である。」(マタイ6・34)

AVACO オンライン講習会

supported by ウェスレー財団

30日間無料で参加できるオンライン講習会

教会、保育所、幼稚園、認定こども園、諸団体での活動、ご家庭内での交わりなどのアイディアとして、視聴覚に関する学びをぜひAVACOと

いっしょに。各期間中、24時間いつでも何度でも視聴いただけます。

すくすく育む
音楽あそび
桃原和子先生

<https://avaco.info>

命のことば

伊藤早奈

②「また明日」

「だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である。」(マタイ6・34)

明日のことまで思い悩むな。明日のことを明日自らが思い悩む。その日の苦勞は、その日だけで十分である。」(マタイ6・34)

「明日こそ話そう」と思いながら他の部屋に行きました。

Aさんどうしてるかな? 今日こそ話そう。と思つていた私の耳に朝のミーティングで報告された。「Aさんは昨夜亡くなりました。」

「えっ…」

Aさんとの出会いはかけがえのない「今」を私に教えてくれました。今与えられる出会いを感謝します。



できないでしょうが、その頃は身体的にも精神的にも子どもから大人に移り変わってゆく不安定な時期。第二反抗期のまっただ中、自身のアイデンティティを確立するための大切な時期です。その意味でこの出

マリアの信仰

来事は、マリアのみならず私たち自身のアイデンティティ確立の物語として捉えることもできましよう。向こう側から私たちに呼びかけてくる「永遠の汝」との関係の中に私たちは創造さ

できないし、気づかないと応答できない。ノックの音が聞こえて初めて私たちは扉を開けることができないのです。「見よ、わたしは戸口に立つて、たたいている。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう」(黙示録3・20)。目を覚まし、耳を澄ませて神からの呼びかけに備えていたと思います。

登場しませんが言葉としてはイエスの話にしばしば出て来ますが。文字通り「天使」とは神からの使者であり、人と超越的な次元をつなぐ仲介的な存在です。ボンヘッファーの獄中書簡から作られた讃美歌「善き力にわれかこまれ」(讃美歌21・469)は、教会讃美歌266「いま主のみ前を」同様、天使の存在を前提としています。

Fのコミュニケーション(クリストにある交わり)での特別な責任を担うにあたつて、神の霊の導きを祈っています。LWFは神様のミッション全領域に取り組んでいるので、理事会、加盟教会、そしてパートナー関係にある様々な教会と共に宣教に携われることを嬉しく思っています。」

「教会讃美歌 増補」解説



⑧増補7番「祝福のうちに」・増補8番「われら信じます」

讃美歌委員会

松本義宣

(東京教会牧師)

増補7番「祝福のうちに」

6番「これこそ聖なる十の戒めよ」が12節からなるルターのカタキズム(教理問答)コラール、「十戒」のフルヴァージョン版とすれば、これはその短縮版の歌です。6番と同じく1524年に作詞されて、始めは同じ旋律で歌われました。しかし、同年に出たル

ターの友人で協力者だった音楽家ヨハン・ヴアルター(1490〜1570)の賛美歌集に、それぞれの歌には固有の旋律が望ましいとので、彼の曲で収録されました。ただしここではその旋律ではなく、1525年にストラスブルクの歌集に登場した、この7番のメロディを付しました。その後カルヴァンの十戒歌でも用いられたそうで、「宗教改革」へのオマージュの意味も込めました。もちろん、6番の旋律でも歌えます。

同じく各節が「キリエライス」という、「キリエ・エレイソ」(主よ、あわれんでください)の短縮形が終りに使われる、通称「ライゼン」と呼ばれる様式です。十戒を学び、生きるのも、常にキリスト「主」の助けが絶対に必要なのだ、その祈りが込められています。

3番には、トビアスクラウスニツァー(1619〜1684)作の信条歌(こちらは使徒信条が下敷き)がありますが、このルターの歌は、旋律もここに付されたオリジナルのまま、今でも米国ルーテル教会の歌集(ELW・2006年刊、411番)やドイツ福音賛美歌(EG・1994年刊、183番)でも、現役で収録されています。やつと私たちも日本語で歌えるようになった、ルターの代表的な賛美歌と言えるでしょう。

「LWF新事務局長」浅野直樹Sr.(世界宣教主事 市ヶ谷教会) スオミ教会牧師

世界の教会の声

浅野直樹Sr.

(世界宣教主事 市ヶ谷教会)

スオミ教会牧師

LWF新事務局長

LWF(ルーテル世界連盟)の新事務局長にエストニア出身の神学者アンネ・ブルクハルト氏が選ばれました。過去10年にわたつて務めたマーティン・ユンゲ氏を引き継ぎ、今年の11月から148の加盟ルーテル教会を率いることになりました(日本福音ルーテル教会も加盟教会です)。

「LWF新事務局長が取り組む今後の課題は、新方策「With Passion for the Church and the World」の実行、そして2023年9月にポーランドのクラカウで開催予定の次期総会に向けて陣頭指揮を執ることです。」

(了)



LWF新事務局長に就任したアンネ・ブルクハルト牧師(エストニア福音ルーテル教会)

5節の中に、序言(呼びかけ)から十の戒めを含むコンパクトな内容が込められた歌です。また、6番と

旋律は、元は1300年頃のラテン語「クレド(ニケア信条歌)」で、15世紀初め(1417年)にブレ

パンデミックの中の教会

九州教区の取り組みから

角本浩

（九州教区教区長・
神水教会・荒尾教会・
合志教会・松橋教会牧師）

新型コロナウイルス
感染第1波が広がり始
めた昨年3月の教区総
会。オンライン配信を用
いて礼拝等を守ること
の推進を、教区宣教方
策の一つとして掲げた。
それは南九州地域にお
いて既に実践されてい

行った感がある。礼拝休
止の教会が増える中、郵
送などで信徒のもとへ
文書が届けられていく
のと並び、YouTube配
信などで礼拝が行われ
るところが増えていく。
さつと取り組んでいか
れたのは、より若い牧
師、信徒の方々が多かつ
たと思う。



阿蘇山荘感謝礼拝の様子

ブックレビュー

「LAOS『神の民』
としての教会」
北尾一郎著

（ヨベル・2021年）

三浦知夫
（東京池袋教会牧師）

2019年11月に東
教区城北地区の五つの
教会で、合同礼拝と学



（キリスト教書店にて
お求め頂けます。
税込価格・880円）

びの時を持ちました。
その数か月前、その準
備のための地区牧師会
の学びの時間で、牧師
が減少し教会が力を落
としていくような不安
を感じている、今の私
たちの教会の「これか
らの宣教」をテーマに
行いたいということに
なり、講師として定年
教師の北尾一郎先生の
お名前が挙がりまし

た。失礼と思いながら
も、その場からお電話
をさせていただき、こ
ちらも思いをお伝えし
ますと快諾してくださ
いました。その後、出
席者に配布するための
十数頁に及ぶレジュメを
用意してくださり、恵
みあふれる学びの時を
持つことが出来まし
た。その講演を聞かれ
た板橋教会の信徒の方
が中心になり、講演を
是非ブックレットにし
て出版したいと準備を
始められ、この7月に
「LAOS『神の民』と
しての教会」が発行さ
れました。

限られた時間の講演
でお話くださったこと

に加筆をされ、ブック
レットでは信徒と牧師
が共に「神の民」とし
て宣教していくことを
分かりやすく教えてく
ださっています。北尾
先生の宣教論の中で、
先生がこれまで宣教牧
会をされた教会での事
例がいくつも紹介され
ており、私たちの宣教
のためのヒントがたく
さん詰まっているよう
に感じます。ただ誤解
を恐れずに記します
と、信徒と牧師が共に
力を合わせて宣教して
いこうということとは、
これまでも幾度となく
聞き、また話し合われ
てきたことです。問題
と感ずることは、実際

にそのような宣教を展
開している教会が多く
ないということです。
学び、話し合うだけで
一步を踏み出すことが
なかなかできていない
というのが、私自身を含
めた私たちの教会の現
実であるように思うの
です。だからこそこの
「LAOS『神の民』と
しての教会」が私たち
に、すべきことの具体
的なヒントを与え、ま
た前へ進むための後押
しをしてくれると感じ
ています。この場をお
借りして北尾先生に心
から感謝を申し上げま
す。そして皆様にお読
みくださるようにお勧
めいたします。

ルター「マグニフィカート」500年記念 ルター研究所主催 クリスマスオンライン講演会のご案内

江口再起
（ルーテル学院大学・
神学校ルター研究所
所長）

ルカ福音書1章に、
受胎告知を受けたマリ
アが唱った「マグニフィ
カート（マリアの賛
歌）」が記されていま
す。この賛歌について
ルターは解説書「マグ
ニフィカート」を著わ
し、今年は500年の
記念の年です。

コロナ禍のこの2年
間、私たちも大きな
体験をしました。そ

を越えて来なければなら
なかった。が、オンラ
インによってその対策
会議は行われていった。
「おお、これは便利ばい」
「〇〇さん、音ば消し
なつせ」慣れない感じも
持ちつつ、今となつて
は、ごく当たり前になつ
ている画面上での会議
がことをスムーズに運
ばせていった。

今、私がこの原稿を書
いているのが2021
年11月であるが、つい1
週間ほど前にルーテル
阿蘇山荘の解体前の感
謝礼拝を行った。行きた
い気持ちがあつても、平
日に阿蘇山荘まで行け
ない方々も多かったで
あろう。ただ、今回も
YouTube配信でこれを
全国の方々に配信する
ことができた。私は会衆
と、カメラの前でメッ
セージに集中するだけ
でよかった。ササッと配
信設備を整えてくださ
る方々の頼もしいこと。
現在も続いているこ
とであるが、礼拝等の取
り組みは基本的に各教
会の判断に任ざられてい

る。実施するのか、休止
するのかなど。それは当
初、たとえば地区ごとに
相談しつつという話も
していたが、現状におい
ては基本的に各個教会
にゆだねられている。そ
の足並みをそれぞれの
判断でとっていたのは、
果たして良かったのか。
近隣教会が違う判断を
していることは、どう
映っていただろうか。感
染症という状況に限ら
ず、検証していかなばな
らない課題かもしれな
い、と思っている。

＜プログラム＞
◇講演「待つというこ
とーマリアと現代」
江口再起（ルター研究
所所長）

◇バツハマグニフィ
カート「演奏と解説」
加藤拓末（音楽学者・
NHK「FM」古楽の楽
しみ」解説者）

◇シンポジウム「ルター
とマリア」司会・石居
基夫（ルーテル学院大
学学長）

○ルター「マグニフィ
カート」紹介 滝田
浩之（事務局長）

○ルターとマリア 多
田哲（日吉教会牧師）
○聖書・女性・マリ
ア 安田真由子（ルー
テル学院大学講師）



第7次総合方策の紹介(8)

事務局長 滝田浩之

■方策本文より

第7次総合方策主文

3. デイアコニア活動

(1) 宣教の広がり

① 宣教とは何か

福音宣教とは、単に伝道という枠に留まらず、広く社会に仕える働きをも宣教として理解する。平和・環境・人権に関する基本的な理念と取り組みも、この領域に含まれる。

② デイアコニア諸活動

教区、個々の教会、関連施設での後援会組織等により、多様に実施されているデイアコニア活動は、関係責任組織の主体性に委ねることを基本姿勢とする。

③ 釜ヶ崎活動

釜ヶ崎デイアコニアセンター・喜望の家の活動は西教区の責任下であり、運営と教職の位置づけも含めた今後の可能性を責任教区と海外支援機関で必要な検討をしていただく。

④ 社会的マイノリティーの学習と支援

教会が差別解消に取り組むことは、社会の中で福音を分かち合う働きである。痛みを聴き、認識し、共有することに努める。

⑤ 脱原発への取り組み

すでに総会で承認された、脱原発の取り組みについて教区、個々の教会で学びを深め、エキメニカルな活動へ参与していく。

(2) 女性会連盟

日本福音ルーテル教会に連なる重要な宣教推進と教会教育の担い手である女性会連盟に關しては、その主体性を尊重して、必要な協力関係を教区及び本教会において保ち、活動の育成に配慮する。

(2) るうてる法人会連合における共同の可能性を探る。

① るうてる法人会連合という交わりが与えられていることを感謝する。

② 二つの宣教共同体としての意識を更に強め、人材交流、人材育成について互いに連携し、その結びつきを強める具体的な展開を目指す。

4. 諸活動

(1) 青少年育成

① 次世代育成

個々の教会及び教区の育成計画との整合性に配慮しつつ、次世代育成プログラムの継続と発展を全体的に図っていく。そのために、予算化と財源を確保し、適正なサポート態勢を継続する。

② 国内・国際的プログラム

グローバルに青少年の育成を図るため、沖縄など国内で社会の課題に触れ合う研修、あるいは海外教会及びLWF等の研修や体験学習の機会を、JELA及び海外教会の協力を得て

随時提供していく。

エキメニカルな対話を通して、「ルーテル教会はデイアコニアの教会ですよね」と評されたことがあります。皆さんはどのような感想をお持ちになるでしょうか。もちろん自戒を込めて、隣人の痛みに連帯するに乏しい足りなさを私たちは告白せざるを得ません。しかし外から見れば、そのように評される側面を私たちは神学的にも、教会の体質としても持つているということは再認識されるべきではないかと考えます。事実、2017年の宗教改革500年を覚えた時、私たちはそのことを確認したところでした。第7次総合方策を検討する委員会、また宣教の内実を「福音宣教とは、単に伝道という枠に留まらず、広く社会に仕える働きをも宣教として理解する。平和・環境・人権に関する基本的な理念と取り組みも、この領域に含まれる」と明確に定義するに至ったことは重要なことです。この立ち位置から様々な活動が福音宣教という枠組みにしっかりとした足場を持つて行われていくことが期待されます。

(3) インターネット伝道

① 社会と世界に向けての教会の接点及び社会への教会の存在の告知という面から、今やインターネットの活用は有効かつ常識と受けとめる。

② インターネットによる礼拝は個々の教会の主任牧師の責任の下、すでに取り組みが行われている。今後ともくまでも主任牧師の責任のもと、教会間の協力のあり方の一つとして受けとめる。

③ 但し、聖餐をめぐる

ては教会論的、神学的検討を要する課題が残されていることを確認する。

④ 但し、聖餐をめぐる

では教会論的、神学的検討を要する課題が残されていることを確認する。

■解説

ここまで私たちは「個々の教会・教区・本教会」の役割について整理してきました。いよいよ日本福音ルーテル教会としての福音宣教の働きの内実が確認されていきます。



クリスマスに向けて
ペーパークラフトの
作り方動画のご紹介

現在、東教区 YouTube チャンネルには、ステンドグラス工房アスカ主宰・山崎種之さん(松本教会員)のご指導によるペーパークラフトの作り方の動画が公開されています。これらの動画は2020年と2021年の東教区のオンラインCS研修会のために東教区教育部の活動の一環として作成されました。これまでに、左記の6種類が紹介されています。(各動画は5～6分程度です。)

教会学校だけでなく、様々な教会活動、また幼稚園・保育園や関係諸施設の活動にも是非ご活用ください。

東教区YouTubeチャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCnw0CqGqRaYGI NGheUpkWsA>



公 告

この度左記の行為を致しますので、宗教法人法第23条の規定に基づき公告致します。

2021年12月15日

宗教法人日本福音

ルーテル教会

代表役員 大柴譲治

信徒利害関係人 各位

横浜教会土地一部売却

所在地 横浜市神奈川区松ヶ丘

所有者 日本福音ルーテル教会

地番 8番4、8番5

地目 境内地

地積 225.06㎡

理由 売却のため

8番5 145.7906㎡

